2-1. 大雨時にとるべき行動

大雨時には、自ら情報収集し、迅速に避難を判断しましょう。

防災行政用無線

屋外の放送用スピーカーより、防災情報などを放送します。
避難情報は、サイレンを鳴らし、最大音量で放送します。

防災行政用無線の放送内容を以下で確認できます

①テレフォンサービス：放送内容を電話確認
☎ 055（298）4471
②NNS（テレビの 11ch）のデータ放送
③甲府市防災防犯メールマガジン
④甲府市防災アプリ
⑤甲府市防災ポータル

メール

甲府市防災防犯メールマガジン

防災行政用無線の内容や避難情報などがメールで配信されます。

メールアドレスを登録していただくことでメールでの情報発信を受け取ることができます。
下記サイトのQRコードを読み取ると登録サイトにアクセスできます。

登録ツール情報

登録サイト（PC/スマートフォン）	https://plus.sugumail.com/usr/yc-kofu/home

緊急速報メール

市内にいる方々の携帯電話に緊急情報を一斉配信します。
お持ちの携帯電話が緊急速報メールを受信できるのかについて、取扱説明書又は販売店などに確認してください。

機種によって、事前に受信設定が必要な場合があります。

テレビのデータ放送

避難情報や避難所開設情報をはじめ、各種　　防災情報が確認できます。

【NNS（11ch）の場合】

①リモコンの「ｄボタン」を押す
②「県・甲府市からのお知らせ」を選択し、「決定ボタン」を押す
※「河川水位・土砂災害警戒情報」を選択すると、国や県が配信する河川や土砂災害に関する情報も確認できます
③「緊急災害情報」や「甲府市防災防犯メールマガジン」などを選択し、「決定ボタン」を押す

【NHKの場合】

①リモコンの「ｄボタン」を押す
②「防災・生活情報」を選択し、「決定ボタン」を押す
③避難情報や避難所開設情報、河川水位・雨量情報を選択し、「決定ボタン」を押す

リモコンの「ｄボタン」（データ放送）を押すと、テレビ画面で情報を確認できます。

インターネット

甲府市防災アプリ

お持ちのスマートフォンやタブレット端末を活用した無料の防災アプリです。気象情報や避難情報などの各種防災情報の取得や、最寄りの避難所検索やマイ・タイムラインの作成など、災害時・非常時共に役立つ機能があります。

登録方法

Google Play または App Store からダウンロードしてご利用できます

■■■ご注意ください！■■■
インストール・利用料は無料ですが、通信料は利用者負担となります

Google Play で手に入れよう　App Store からダウンロード

甲府市防災ポータル

甲府市が発表する避難情報や避難所開設情報など、防災に関する情報がリアルタイムに掲載されます。
https://kofu-city.my.salesforce-sites.com/

市ホームページ

防災・防犯情報をホームページに掲載しています。緊急時にはトップページに掲載し、随時、災害情報を提供します。
https://www.city.kofu.yamanashi.jp/

川の水位情報

山梨県管理河川のほか、国が管理する河川の水位情報や監視カメラの映像などが確認できます。
http://k.river.go.jp

土砂災害警戒情報システム(山梨県)

土砂災害の危険度が、気象台から提供された予測情報に基づき、約１km 四方の領域（メッシュ）で確認できます。
https://sabo.pref.yamanashi.jp/Top

停電情報（東京電力パワーグリッド㈱）

停電情報を確認できます。
http://teideninfo.tepco.co.jp/flash/index-j.html

総合河川情報システム

県内の雨量・水位情報がリアルタイムで確認できます。
http://www3.pref.yamanashi.jp/yamanashiweb/

キキクル（危険度分布）

気象庁では、大雨による災害の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「キキクル（危険度分布）」を公表しています。詳しくは気象庁のホームページをご確認ください。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/

避難行動

避難行動には、指定された避難所、親戚・知人宅や近隣の安全な場所などへ避難する「**立退き避難（水平避難）**」と自宅の２階以上など、より高い場所へ退避する「**屋内安全確保（垂直避難）**」があります。

状況に応じて避難先を検討

立退き避難（水平避難）



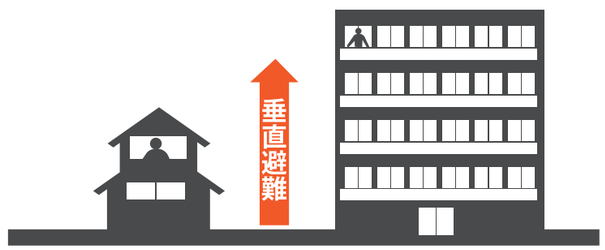
浸水想定区域外の親戚・知人宅など



指定された避難所や、浸水想定区域内でも高い建物のある親戚・知人宅など

河川の近くや浸水深が大きくなる地域、家屋流失のおそれがある区域など、そこにとどまることが危険な場合は、指定された避難所、親戚・知人宅や近隣の安全な場所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保（垂直避難）

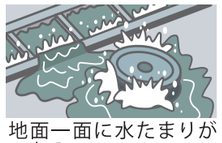
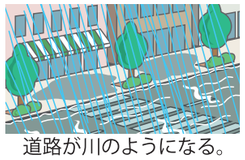
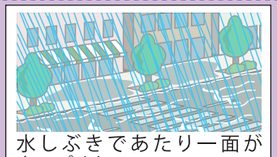
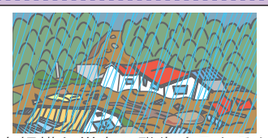


夜間や急激な降雨により、避難所までの経路にある危険箇所が分かりにくい場合や、浸水などにより歩くことが困難な場合など、屋外に出ることがかえって危険なときは、自宅の２階以上や近隣のより高い建物へ避難するなど最大限命を守る行動をとりましょう。

※P11 の避難の種類をご参照ください。

2-2. 大雨時の情報と行動の目安

市町村が発令する避難情報は、市町村が総合的に判断して　発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがあります。

危険度	小 → 大				
警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
市民の皆さんのとるべき行動	災害への心構えを高める ●最新の気象情報などを入手する。 ●指定避難所の位置を確認する。	自らの避難行動を確認する ● 避難に備え、ハザードマップなどで、自らの避難行動を確認する。	危険な場所から高齢者等は避難 ●近所に声をかけ、複数で避難する! 	危険な場所から全員避難 ● 速やかに避難先へ避難する! ● 全員立退き避難 	命の危険 直ちに安全確保! ●命が危険な状況です。建物の２階以上の高いところで山側から遠い部屋などへ直ちに安全確保してください。
気象情報	早期注意情報（警報級の可能性）	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報、洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報（数十年に1度の大雨）
キキクル（危険度分布）		注意	警戒	危険	災害切迫
河川水位情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
周囲の状況 災害発生の目安		 地面一面に水たまりができる。	 道路が川のようになる。	 水しぶきであたり一面が白っぽくなる。	 大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。
雨の降り方		1時間雨量 20～30mm未満	1時間雨量 30～50mm未満	1時間雨量 50～80mm未満	記録的短時間大雨情報 1時間雨量100mm以上

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

大雨や暴風が特に異常であるため重大な災害が起こる危険性が著しく高い。

この表はあくまでも目安です。雨の降り方などの状況によっては、表のような順番で情報が出るとは限りません。　各種情報を積極的に収集し、自らの判断で避難をしましょう。

顕著な大雨に関する情報

顕著な大雨に関する情報は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「**線状降水帯**」というキーワードを使って解説する情報です。

この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報であり、**警戒レベル4相当以上の状況で発表**します。

気象庁では、災害に結びつくような激しい気象現象が予想される場合、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて気象警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。警報・注意報などの情報が発表されたら、危険度分布で状況を確認し、自宅に迫る危険度を把握しましょう。

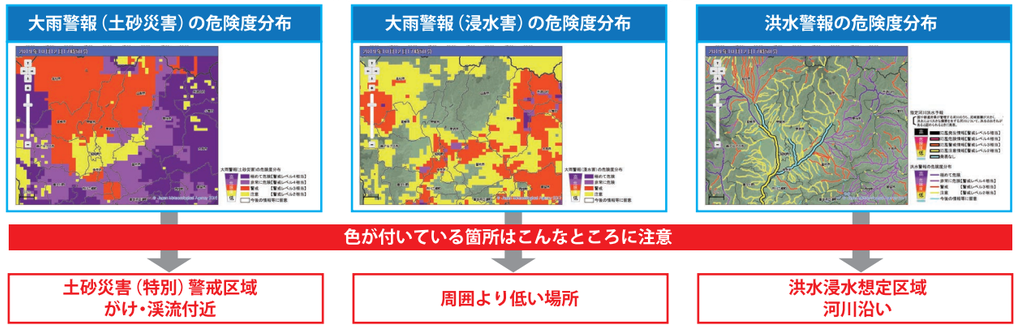
災害の危険性 高 → 低

特別警報	重大な災害の危険性が著しく高まっている状況
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象庁と山梨県が共同で発表
記録的短時間大雨情報	数年に一度（山梨県では、1時間雨量100㎜）の猛烈な雨が観測・解析された場合に発表
大雨警報・洪水警報	大雨、洪水によって重大な災害が起こるおそれのある状況
大雨注意報・洪水注意報	大雨、洪水によって災害が起こるおそれのある状況

キキクル（危険度分布）

大雨による土砂災害、浸水害、洪水の危険度をキキクルのホームページで色分けして掲載しており、紫色は危険度が高い箇所を示しています。

【令和元年東日本台風（台風第19号）の甲府市周辺】



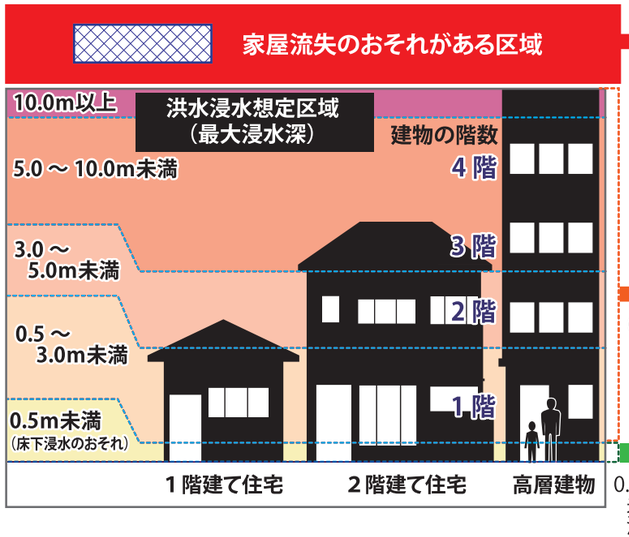
2-3. 避難行動判断フロー

ハザードマップで自宅などを確認し、下の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認しておきましょう。お住まいの住居が戸建住宅か、集合住宅か、建物の階数が何階か、付近に土砂災害の区域があるかといったそれぞれの状況によって、とるべき行動は異なります。下のステップに従ってハザードマップを確認し、大雨時に自分がとるべき行動の目安を知り、身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。

とるべき行動（凡　例）
- **立退き避難**：河川などが氾濫する前に、早めに自宅以外の安全な場所へ事前避難を。
- **垂直避難**：状況に応じて、建物の高層階に垂直避難を。
- **自宅待機**：むやみな移動はかえって危険。大雨時は情報収集に努め、状況に応じて浸水対策を。

Step ①　P15 ～ 34の地図で自宅の位置を確認し、周辺の「家屋流失のおそれがある区域」や「洪水浸水想定区域（最大浸水深）」などを確認しましょう。

自宅の位置は家屋流失のおそれがありますか？「浸水の深さ」の色は？



- 家屋流失のおそれがある区域 → **立退き避難**：洪水によって家屋が倒壊したり、地面ごと家屋が崩落するおそれがあるため、早めに安全な場所に避難しましょう。
- 0.5m以上 → 集合住宅に住んでいる / 戸建住宅に住んでいる
- 0.5m未満 → **自宅待機**：むやみな移動はかえって危険。大雨時は情報収集に努め、状況に応じて浸水対策を。

Step ②　戸建住宅でのとるべき行動の目安を知りましょう。

戸建住宅

お住まいの戸建住宅の階数と、地図上での着色（浸水の深さ）を確認し、とるべき行動の目安を知りましょう。

階　数	想定される浸水の深さ 0.5～3.0m未満（1階部分が水没するおそれ）	3.0～5.0m未満（2階部分まで水没するおそれ）	5.0m以上（3階部分まで水没するおそれ）
3階建て	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難
2階建て	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難	立退き避難
1階建て	立退き避難	立退き避難	立退き避難

避難を考える上での留意事項

①ハザードマップでは、最悪の事態を想定しています。河川の氾濫が起こることを前提に、避難を考えてください。
②ここで示すのは、大雨時にとるべき行動の目安であり、絶対的なものではありません。身の危険を感じたら、命を守る行動をとってください。
③被害想定がない区域においても、絶対安全というわけではありません。もしもの場合を考えて行動してください。
④基本的には『立退き避難』を推奨しますが、『垂直避難』が可能な方については『垂直避難』もご検討ください。

Step ②　集合住宅でのとるべき行動の目安を知りましょう。

集合住宅

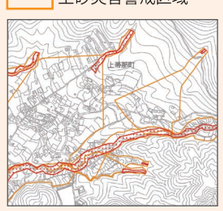
お住まいの集合住宅の階数と居住階、地図上での色（浸水の深さ）を確認し、とるべき行動の目安を知りましょう。

※集合住宅の場合、いざという時には、共用部分の廊下などへ垂直避難することができます。あらかじめ話し合っておきましょう。

階　数	居住階	想定される浸水の深さ 0.5～3.0m未満（1階部分が水没するおそれ）	3.0～5.0m未満（2階部分まで水没するおそれ）	5.0m以上（3階部分まで水没するおそれ）
5階建て以上	5階以上	自宅待機	自宅待機	自宅待機
	3・4階	自宅待機	自宅待機	立退き避難 / 垂直避難
	2階	自宅待機	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難 / 垂直避難
	1階	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難 / 垂直避難
3～4階建て	3・4階	自宅待機	自宅待機	立退き避難
	2階	自宅待機	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難
	1階	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難
2階建て	2階	自宅待機	立退き避難	立退き避難
	1階	立退き避難 / 垂直避難	立退き避難	立退き避難
1階建て	1階	立退き避難	立退き避難	立退き避難

Step ③　土砂災害からの避難を考えましょう。

ハザードマップ上で自宅が土砂災害（特別）警戒区域内にあるかを確認する。
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



- ある → 建物の構造は？
  - 木造 → **立退き避難**：土砂災害によって家屋が倒壊するおそれがあるため、早めに安全な場所に避難する必要があります。
  - 鉄筋コンクリート構造などの頑丈な建物 → **立退き避難**：頑丈な建物であっても、土砂の流入が想定されるため、早めに安全な場所に避難する必要があります。
    ※ただし、逃げ遅れた場合は、山とは反対側の2階以上の部屋に移動するなど、屋内の安全な場所へ移動してください。
- ない → **自宅待機**：むやみな移動はかえって危険。大雨時は情報収集に努め、土砂災害に関する情報に注意を。

2-4. 避難の種類

「避難」は、市が指定した避難所等にいくことだけではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の３つの行動があります。

市が指定した避難場所への立退き避難



非常持ち出し品等必要なものをもって避難しましょう。



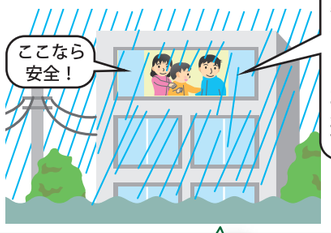
安全な親戚・知人宅への立退き避難



普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。



屋内安全確保



ハザードマップで以下の「**３つの条件**」※を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。
土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

※「３つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

❶ 家屋流失のおそれがある区域に入っていない

入っていると…

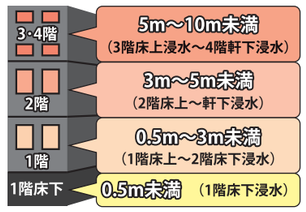


流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

❷ 浸水深より居室は高い



❸ 水が引くまで我慢でき、水、食料などの備えが十分ある。



長期にわたる浸水が想定される区域は、ライフラインが絶たれることにより避難生活が困難となるおそれがあります。

2 -10.浸水継続時間図（P47-48）をご確認ください。

2 -8.洪水ハザードマップ（P15 ～ 34）を見て、わが家が家屋流失のおそれがある区域、浸水想定区域にあるか確認しましょう。

2-5. 水害時の指定避難所兼指定緊急避難場所一覧

指定避難所	避難した方が災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により自宅へ戻れなくなった方を一時的に滞在する施設。
指定緊急避難場所	災害の危険から緊急に避難する施設または場所。

■指定避難所兼指定緊急避難場所の使用可能区分について

屋上：屋上が利用可能	**３F**：３階以上使用可能	**２F**：２階以上使用可能

ブロック	No.	名　称	住　所	使用可能区分 洪水	使用可能区分 土砂災害
東部	1	東小学校	朝気一丁目14-1	２F	○
	2	里垣小学校	善光寺二丁目7-1	２F	○
	3	東中学校	東光寺二丁目8-1	２F	○
	4	甲府東高等学校	酒折一丁目17-1	２F	○
	5	甲運小学校	川田町65-2	２F	○
	6	東部市民センター	和戸町955-1	○	○
	7	玉諸小学校	上阿原町491	２F	○
	8	山梨県自治会館	蓬沢一丁目15-35	２F	○
	9	善誘館小学校	朝気一丁目2-52	２F	○
西部	10	甲府市役所西庁舎※2（旧穴切小学校）	宝二丁目8-19	２F	○
	11	西中学校	飯田五丁目13-1	２F	○
	12	石田小学校	上石田三丁目6-31	２F	○
	13	南西中学校	上石田四丁目10-8	２F	○
	14	池田小学校	長松寺町7-1	２F	○
	15	甲府城西高等学校	下飯田一丁目9-1	２F	○
	16	甲府西高等学校	下飯田四丁目1-1	２F	○
	17	新田小学校※1	新田町12-28	２F	○
	18	富竹中学校	富竹四丁目5-8	２F	○
	19	貢川福祉センター	徳行三丁目12-1	２F	○
	20	貢川小学校	貢川本町8-1	２F	○
	21	西部市民センター	長松寺町12-30	２F	○
南部	22	湯田小学校	湯田一丁目8-1	２F	○
	23	伊勢小学校	伊勢二丁目16-1	２F	○
	24	南中学校	湯田二丁目21-24	２F	○
	25	国母小学校	国母四丁目1-10	２F	○
	26	南西部市民センター	国母六丁目4-2	２F	○
	27	大国小学校	後屋町150	２F	○
	28	上条中学校	古上条町95	２F	○
	29	甲府商業高等学校	上今井町300	２F	○
	30	甲府南高等学校	中小河原町222	２F	○
南部	31	山城小学校	上今井町474-2	２F	○
	32	環境センター管理棟	上町601-4	２F	○
	33	南部市民センター※2	下今井町15	屋上	○
	34	大里小学校	大里町3785-2	２F	○
	35	城南中学校※2	大里町2590-1	２F	○
	36	中道南小学校	下向山町4366	○	○
	37	中道北小学校※2	上曽根町3368-36	３F	○
	38	笛南中学校※2	下曽根町270	３F	○
	39	中道スポーツ広場体育館	下向山町946	○	○
	40	上九一色出張所	古関町1158	－	○
北部	41	北中学校	大和町4-35	２F	○
	42	甲府第一高等学校	美咲二丁目13-44	○	○
	43	北新小学校	北新一丁目5-1	○	○
	44	相川小学校	古府中町1501	○	○
	45	北東中学校	大手二丁目4-18	○	○
	46	千塚小学校	千塚一丁目2-16	２F	○
	47	北部市民センター	湯村三丁目5-20	２F	○
	48	羽黒小学校	羽黒町527	○	○
	49	山宮福祉センター	山宮町383-1	２F	○
	50	北西中学校※1 ※2	山宮町538	２F	○
	51	千代田小学校	下帯那町3034-2	○	○
中央部	52	舞鶴小学校	丸の内二丁目35-5	２F	○
	53	中央部市民センター	丸の内三丁目26-16	２F	○
	54	富士川悠遊館	中央三丁目3-1	○	○
	55	朝日小学校※1	塩部一丁目4-1	○	○
	56	甲府工業高等学校	塩部二丁目7-1	２F	○
	57	新紺屋小学校	武田一丁目3-34	○	○
	58	北東部市民センター	武田三丁目1-6	○	○
	59	甲府市役所南庁舎（旧相生小学校）	相生二丁目17-1	２F	○
	60	甲府市役所南庁舎別館※2（旧自治研修センター）	相生一丁目9-7	２F	○

※1 洪水時、新田小学校は南棟、朝日小学校は体育館及び東棟、北西中学校は北棟及び体育館は利用できません。
※2 水害時は指定緊急避難場所としての利用となります。
注）各使用可能区分により完全に安全が確保できるものではありませんので、実際の災害の状況に応じて、洪水浸水想定区域外、土砂災害警戒区域外への避難を最優先に避難行動をとりましょう。

■一時避難所

名　称	住　所
甲斐市吉沢地域ふれあい館	甲斐市吉沢 233-2
荒川ダム記念館	川窪町 583

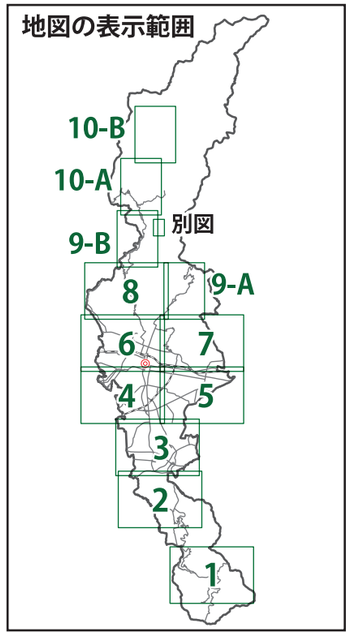
■水害時の指定緊急避難場所

名　称	住　所	使用可能区分 洪　水	使用可能区分 土砂災害
甲府商科専門学校	西下条町 1020	2Fの階段・屋上	○

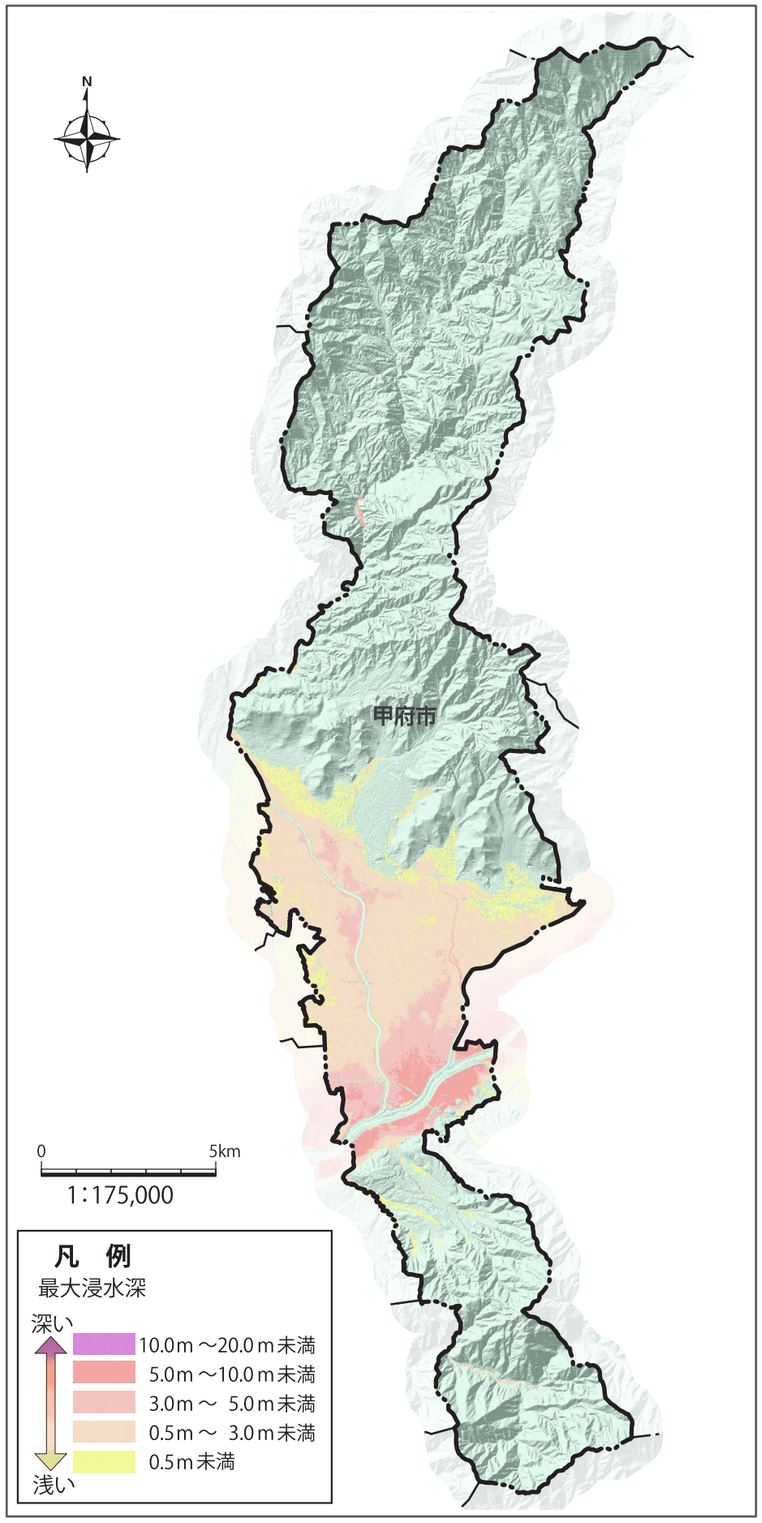
2-6. 甲府市の地形と災害

市の南北の山の間にある甲府盆地は、笛吹川、釜無川をはじめとして多くの河川が流れており、水害が発生しやすい自然条件下にあります。特徴としては、短時間の集中豪雨による中小河川や都市排水の氾濫、あるいは急傾斜地や宅地造成地、低地における浸水などが多くみられます。

右の図は、甲府市周辺の地形と対象河川が氾濫した際の浸水範囲を示したものです。「河川から離れるように逃げる」、「高い場所へ逃げる」を洪水時の避難の目安としてください。



図郭	ページ
1	P15-16
2	P17-18
3	P19-20
4	P21-22
5	P23-24
6	P25-26
7	P27-28
8	P29-30
9A、9B	P31-32
10A、10B	P33-34



2-7. ハザードマップの見方

P15~34では、大きな縮尺の地図を用いて、甲府市の洪水ハザードマップを紹介します。

①自分の地域のページを見つけよう

自宅や勤務先、学校など、暮らしている地域を、1 ～ 10のブロックから探して、そのページを開きます。

②色が塗られているか、囲われているか確認しよう

地図で自宅の位置などを確認できたら、その場所が色で塗られているか、色線で囲われているかを確認しましょう。

③どのような区域に指定されているか確認しよう

自宅の位置などが色で塗られていたり、色線で囲われている場合は、凡例の色と照らし合わせて、どのような区域に指定されているか確認しましょう。

④避難場所の位置を確認しよう

最寄りの「指定避難所」「一時避難所」の場所を確認しましょう。

⑤避難経路を確認しよう

自宅などから避難所までの経路を地図で確認しましょう。その際、浸水深の深い場所や土砂災害（特別）警戒区域を避けた経路を考えてみましょう。

